

## 「衣の房」

2025年2月19日

松並徹治

民数記 15:37～41

15:37 【主】はモーセに告げられた。

15:38 「イスラエルの子らに告げて、彼らが代々にわたり、衣服の裾の四隅に房を作り、その隅の房に青いひもを付けるように言え。

15:39 その房はあなたがたのためであって、あなたがたがそれを見て、【主】のすべての命令を思い起こしてそれを行うためであり、淫らなことをする自分の心と目の欲にしたがって、さまよい歩くことのないようにするためである。

15:40 こうしてあなたがたが、わたしのすべての命令を思い起こして、これを行い、あなたがたの神に対して聖なる者となるためである。

15:41 わたしが、あなたがたの神、【主】であり、わたしがあなたがたの神となるために、あなたがたをエジプトの地から導き出したのである。わたしはあなたがたの神、【主】である。」

私たちは、日々の生活の中で、様々な誘惑に会い、また多忙のため、神の言葉を忘れてしまいそうになる時があるのではないのでしょうか。今日は「衣の房」が私たちに何を教えるのか考えてみたいと思います。

39節に「すべての命令」とありますが、これは神がイスラエルの民に与えた律法全体を指します。しかし、イエス様はマタイ 22:36 で律法の専門家に、どの戒めが一重要かと尋ねられた時に、「あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。」「(申命記 6:5) と、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。」「(レビ記 19:18)、「この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」と仰っています。またパウロはロマ書で 13:8～9 で次のように言っています。だれに対しても、何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことは別です。他の人を愛する者は、律法の要求を満たしているのです。13:9 「姦淫してはならない。殺してはならない。盗んではならない。隣人のものを欲してはならない」という戒め、またほかのどんな戒めであっても、それらは、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」ということばに要約されるからです。

また、ガラテヤの 5:14 で次のように言っています。

5:14 律法全体は、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という一つのことばで全うされるのです。

ですから、これらを要約すると、「神への愛」、「隣人への愛」と言うことになります。そのことから、私たちは旧約の律法を単なる義務や規則としてではなく、神と人との愛の関係として捉えることが必要であると考えさせられました。

次に「淫らな」とありますが、この言葉は単に性的な罪だけではなく、偶像礼拝や物質的な欲望など、神に背を向けるすべての行動を含んでおり、神の教えに従わず、自己中心的な生き方をすることを表しています。

そして「目の欲」という言葉が出てきますが、それはどういうことなのか聖書から見ていきましょう。創世記 3:6 にはエバが善悪の知識の木の実を見たとき、「その木は食べるのに良さそうで、目に慕わしく、またその木は賢くしてくれそうで好ましかった。」と述べています。また、ダビデは屋上からバテシエバを見たとき、その美しさに心を奪われ罪を犯しました。(IIサムエル 11:2～4) また、イエス様は「情欲を抱いて女を見る者はだれでも、心の中ですでに姦淫を犯したのです。」とされました。(マタイ 5:28) このように人は目に映るものに誘惑され、心を奪われやすい存在であるということを感じたいと思います。また、人の欲は罪へと向かい、やがて死をもたらすのです。ヤコブの手紙を見ますと次のように書かれています。

1:14 人が誘惑にあうのは、それぞれ自分の欲に引かれ、誘われるからです。

1:15 そして、欲がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生みます。

また、「さまよい歩く」とは自分の心や目に従って生きることであり、神から離れて、自分勝手な道を歩むことです。

40 節に「聖なる者」とあります。聖なるとは神に属し、神のために取り分けられたと言う意味があります。ですから、聖なる者とは神に選ばれ、神に仕えるために生きる存在であり、神への献身を意味するのです。レビ記を見ますと次のように書かれています。11:44 わたしはあなたがたの神、【主】であるからだ。あなたがたは自分の身を聖別して、聖なる者とならなければならない。わたしが聖だからである。

また、私たちはイエス様の十字架の御業によって、罪赦され聖なる者とされているのです。ヘブル人への手紙を見ますと次のように書かれております。

ヘブル 10:10 イエス・キリストのからだは、ただ一度だけ献げられたことにより、私たちは聖なるものとされています。

また、聖なる者とは、聖なるお方に倣う者となるために召されているのです。

新共同訳 ロマ書 8:29 神は前もって知っておられた者たちを、御子の姿に似たものにしようとあらかじめ定められました。

聖なる者とは、イエス様に似る者になることではないでしょうか。ですから、神を愛し、隣人を愛し、謙遜と従順、聖さを追い求めて聖霊の助けを得て変えられ続けていきましょう。

出エジプトは、神が奴隷状態にあったイスラエルの民を救い出された出来事であり、イスラエルの歴史の中心でもあります。これは、神が救い主であることを具体的に示された行動です。ですから、救いを受けた民は、神の命令に従い、神を礼拝する責任を負うのです。衣の房を作ることは、イスラエルの民が神に応答する生活を実践するための、助けとなる目に見える印でした。

最後に、私たちがこの地上で、聖霊に導かれてイエス様に似た者と変えられ続けることが、目に見える、生きた印となるのです。

マタイ 5:16 あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです。